

十二月二日 つづき

ライカにフィルムを入れたわ入れたでどうも廻っていない。つまりフィルムが順調に巻き込まれていない。心配になってフタを開けてみたら案の定空廻りしていた。やり直したと、もう一度フィルムをセットし直そうとしたら、今度はフィルムが入らない。三〇分程苦闘したがラチがあかない。私が要領悪いか、何か要<sup>かなめ</sup>を取りちがえているか、過度に不器用なのか、あるいはライカF3（菅原に電話して尋ねたら私のもらいもののライカはF3というタイプのものらしい。）が何処かに欠陥があるか、どちらかである。ライカと私ではどうも私の分が悪いが、ライカの欠陥度も相当のものである。ドイツ人が極度に器用な民族であるとも思えない。バウハウス大学の連中もそんなに指先が器用な奴はいなかった。今地下にいるトーマスなんかはヘチマと怒鳴ってやりた<sup>い</sup>程に不器用だ。

レンズよし、本体メカニズム全てよし、全体美麗でよし、だがフィルムが入らない。これを考えた人間は何処かでバランスが欠けていたんだらう。イライラしたら急に空腹になった。ライカは食欲増進によい。明日は路上観察学会の面々が我家を観察に来る予定で、今日大量のユリの花が届いた。あんまり大量で容れ物が無く、家内がバケツを買いに行った。ブリキのバケツを探さねばならない。変な眼の持主達だからなあ。赤瀬川原平さんが来たらライカのフィルムの入れ方を御指導願えるだらう。

十二月三日

午前中地下室で打ち合わせ。梅沢良三さん渡辺邸鉄骨原寸検査。高橋工業社長と最終チェック。遊具その他の打ち合わせ。

午後二時路上観察学会の面々来宅。藤森照信赤瀬川原平南伸坊林丈二松田哲夫。丹念に見てまわる。赤瀬川さん「イスラム風です」発言に仰天。屋上で廻っている韓国製の換気扇に皆いたく興味をそそられた模様。しかしあの換気扇をイスラム風とは！言われてみればたしかにそうでもあり、赤瀬川さんの眼玉は不思議なメガネをかけているんだ。

今日も天気が良くなって我家の南の窓は全開放。これまでのところお客さん達にはベストな表情の世田谷村を見ていただいている。さざん花も花盛りだ。

三時から酒盛り。家内の手料理でワイワイ飲む。実に優雅な大人な人たちであることを再確認する。夜半十一時まで宴会は続いた。非常に楽しかった。骨のズイまで自由業の人間の集まりなんだ。それも皆独人で仕事をしている人ばかり。フリーターの極致なのだ。

宮脇愛子さんに上海ガニを誘っていたのだが、到底七時には抜けられず、愛子さん怒っているだらうな。ミラノから詫び状入れておこう。